

阿南医療センター 具体的対応方針の変更について

1 現時点の「具体的対応方針」について

		機能区分別病床数					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	総計
南部地域医療構想調整会議	2025年に向けた具体的対応方針	0	283	86	0	(29)	398
			一般268 緩和ケア15	回復リハ40 地域包括46			
	合意された病床数	0	283	86	0	(29)	398

(令和5年1月南部地域医療構想調整会議にて合意)

2 病床機能転換方針

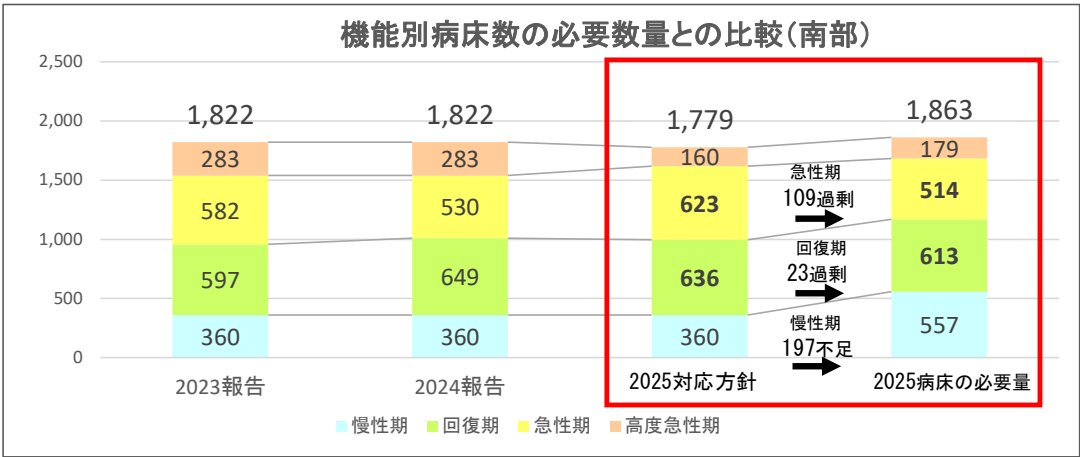
南部地域における現在の「2025年対応方針」では、2025年必要数量に対して慢性期病床は不足（197床）しているが、急性期病床（109床）及び回復期病床（23床）は上回る状況にある。

阿南医療センターは、県南で2つしかない分娩取扱施設として、地域の産科医療提供体制を堅持するとともに、血液透析・腹膜透析等の透析治療、また、二次救急医療機関として、圏域のみならず全県的に増加する救急医療にも積極的に取り組んでいる。

しかしながら、当院も全国的な動きと同様、患者数がコロナ前の水準には戻らず収益が減少する一方、物価上昇等による費用増により病院運営を取り巻く環境は非常に厳しく、加えて、医師・看護師等の医療人材の確保が難しいことから、介護療養病棟からの転換により増床した回復期病棟（新型コロナ感染症流行下において閉鎖）の再開が困難な状況にある。

【R6年度当期純損益】3億9百万円の損失計上

については、これらの状況に鑑み、圏域において過剰とされる急性期及び回復期病床の削減を図り、地域医療構想の実現に寄与するとともに、2040年の到来を見据え、公的医療機関として安定的な病院運営により質の高い医療を提供し、地域医療に貢献してまいりたい。



R5. 7月南部地域医療構想調整会議資料、県hp「2024病床機能報告」より

3 変更後の「具体的対応方針」（病床機能）について

		機能区分別病床数					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	小計	休棟中
現状（R7年6月）		0	283	86	0	369	29
			一般268 緩和ケア15	回復期リハ40 地域包括46			一般29
病床削減				地域包括△46		△46	△4
2025年10月時点の機能（予定）		0	283	40	0	323	25

※ 院内の病棟構成を見直し、50床を削減（急性期4床、回復期46床）
休棟25床については、地域の医療提供体制や病院運営等を鑑み検討してまいりたい。